

# 人文科学研究所研究叢書

## 30.『埋もれた風景たちの発見 ヴィクトリア朝の文芸と文化』

2002年5月15日発行

中央大学人文科学研究所 編 中央大学出版部発行

本体価格7,300円（税別）

ISBN 4-8057-5321-8

はしがき	
第一部 ヴィクトリア朝の詩人たち	
I ジョン・クレアの後期の詩 —1841年を中心に	川口 紘明
II テニソンの'process of speech' —中期の長詩を中心に	里麻 静夫
III 「エトナ山上のエムペドクレス」再び —信と不信の距離	兵藤 雅子
IV 『家の中の天使』の詩法 —詩とリアリズム	海老根 宏
V クリスティーナ・ロセッティ —女性としての制約と信仰	坂川 雅子
VI 劇的独白の誕生とその盛衰	原 孝一郎
VII 幻想のエデン —ウィリアム・モリス『地上楽園』の冬の物語詩	上坪 正徳
VIII インスケイプの詩学 —「ドイッチュランド号の難破」を読む	笹川 浩
IX 詩人オスカー・ワイルド	土屋 繁子
第二部 ヴィクトリア朝の批評と文芸	
X ワーズワスとディ・クインシィ —事実の省察は神秘への道	井上 美沙子
XI マシュー・アーノルドの初期評論 —「マルクス・アウレリウス」と「ジューベール」	中川 敏
XII 理想と現実の狭間 —『ミドルマーチ』をめぐって	松本 啓
XIII ヴィクトリア朝の大衆演劇と笑い —ブラッドン、ヘイゼルウッド、D・ジェロルド、そしてD・ブーシコー	井出 弘之
索引	